

有限会社上原ファームについて

公正会
佐々木政幸

問 宮崎県より進出してきた上原ファームは、東豊沼農場をはじめとして畜舎を増設し、頭数を増加させています。しかしながら、操業当初から環境衛生面では、問題があります。そこで、現在までの操業状況について伺います。

答 上原ファームは、平成23年1月より東豊沼地区の第一農場、平成24年7月より富平地区の第三農場、平成25年12月より一の沢地区の第二農場が、操業を開始しています。

豚の飼育頭数は、三農場合計で約1万2千頭を計画していましたが、現在は、浄化槽の改修のため約7千頭に調整し、操業しています。環境衛生面での悪臭については、操業間もない平成23年8月から現在まで、162件の苦情があり、その対応をしています。

また、浄化槽の未処理水の流出事故についても、北海道より改善指導があり、その対応については、市としても強化していきたく考え

ています。

問 浄化槽の未処理水の河川への流入は、地域住民の生活と営農に多大な影響を及ぼしました。幸いにも水田の土壌には、有害物質は、検出されなかったものの、このようなことは、今後、二度と起きるはならないことです。再発防止に向けての対応について伺います。

答 今後も地域住民のために、北海道をはじめとする各関係機関と連携・協力して再発防止に努め、今後、早急に抜本的な改善を上原ファームに強く求めていきたいと考えています。



北光一の沢川

市管理の河川整備について

市民クラブ
中道 博武

問 近年の異常気象とも思われる長雨や集中豪雨によって水嵩が増し、市内の河川において、所々で法面の崩落や浸食を防ぐコンクリート塀が崩れ落ちているのが見かけられます。

特に、奈江豊平川では著しくその土砂が下流の川底に堆積し、中洲が出来て雑草などが生え景観が損なわれている状況にあり、しばしば起こる増水による田畑への冠水の原因になることも考えられます。

災害を最小限に抑えるためにも、河川の改修が必要と考えますが、市としての考えを伺います。

答 市が管理する河川は、15河川、河川延長30.8km、流域面積74.7km²であり、随時河川パトロール等を行い、河川の危険箇所把握に努めており、災害対策を重視した維持管理をしているところです。

奈江豊平川の対応としては、これ以上ブロックが沈下しないよう下側に玉石を網に詰込んだ蛇籠で

応急処置を行ってきたところですが、積ブロックにこれ以上の沈下が見られれば、復旧工事を実施していきたいと考えています。

問 奈江豊平川の他に、被災箇所があるのか、またどのように対応していく考えか伺います。

答 富平のナエ川上流部で河岸浸食箇所の測量設計業務を発注し、来年度以降、実施を計画しています。

この他にも護岸の被災箇所として、3箇所把握しており今後、現地の状況を見ながら実施していくよう検討していきます。



奈江豊平川

旧国家公務員宿舎の購入について

市民の声
小黒 弘

問 空知太にある旧国家公務員宿舎の1棟4戸を概算で1千500万円で購入することですが、リフォームにかかる費用はどのくらいなのか伺います。

答 今回取得する住宅は、コンクリートブロック造2階建てで、昭和58年建設の3DKです。改修金額は、概算で1戸当たり約700万円程度になると考えています。

問 賃貸をすれば家賃はいくらにするのか伺います。

答 家賃については、今後、財務局から示される売却予定価格や改修費、民間アパートの家賃の動向等を踏まえ、同規模の民間アパートの家賃を上回らない範囲で設定する予定です。

問 市内には民間アパートも充足し、子育て世帯が入居できる公営住宅も待機なしで入居可能な状況です。市内には空き家が増え続けている中で、砂川市が固定資産税も入らないアパート経営をするような旧国家公務員宿舎の購入をどう

のように理解すればよいのか伺います。

答 市内の民間アパートは多人数世帯向けの3DK及び3LDK等の戸数は少ない状況です。また、家賃は近隣市町に比べると平均的に高いとの声が多く聞かれます。

公営住宅については、待機なしで入居可能な住宅はありますが、所得等の状況によっては入居できない場合もあります。そこで、移住定住に寄与する住宅施策として市内により多くの方々に居住していただくため、公的賃貸住宅として供給しようとするものです。



旧国家公務員宿舎

未利用地について

市民の声
武田 真

問 市有地には、かなりの面積の未利用地が存在します。未利用地は市民の貴重な財産であり、活用を努めるべきと考えますが、各部署の情報の一元化や公開、危険な建物がある未利用地を処理する仕組みの構築について伺います。

答 これまでも売却に向けた取組みを進めてきましたが、未利用地が増加している状況にあり、固定資産台帳が整備された後は、情報の一元化を図ることができると考えています。将来的な方向性を定めていくことが難しい土地もある現状から、情報をホームページ等で公開するなど活用に関するアイデアを求める方策も検討したいと考えています。危険な建物がある未利用地を処理する仕組みについては、公共施設等総合管理計画の中で取組みを進めていきます。

ふるさと納税について

問 ふるさと納税の認知度もあが

つてきましたが、一方では返礼品の競争が過熱している部分もあります。ふるさと納税は使い道で競争するのが本来の趣旨と考えますが、取組み状況・使い道について伺います。

答 インターネットの活用等による利便性の向上に努めたところ、寄附金は昨年度実績を大幅に上回る状況です。この寄附金の使い道については、4つのメニューを示し選んでいただけていますが、今後においても、寄附をいただいた方々の意向に応え、有効に活用させていただきたいと考えています。



老朽化著しい旧豊沼中学校